

(公財)日本バスケットボール協会会長である三屋裕子氏が市長を表敬訪問します
～バスケットボール 日本代表対オーストラリア代表 in 千葉ポートアリーナが開催されます～

FIBAバスケットボール ワールドカップ2019アジア地区1次予選の日本代表対オーストラリア代表の試合が千葉ポートアリーナで行われることに伴い、(公財)日本バスケットボール協会会長の三屋裕子氏が市長を表敬訪問しますので、お知らせします。

1 日時

平成30年6月27日(水) 11:00～

2 場所

市役所3階 市長応接室



三屋 裕子氏

3 訪問予定者

- ・三屋 裕子(みつや ゆうこ)氏 (公財)日本バスケットボール協会会長
- ・田中 道博(たなか みちひろ)氏 専務理事/事務総長

<参考>

1 三屋裕子氏プロフィール

中学からバレーボールを始め、八王子実践高校から筑波大学に進学する。1981年、日立女子バレーボール部に入部。ユニバーシアードに3度出場し、1979年には銀メダル獲得。日立、全日本代表の軸選手として活躍し、1983年のアジア選手権で優勝。1984年、ロサンゼルスオリンピックで銅メダルを獲得。最高到達点308cmという高さを誇り、攻撃型のセンタープレイヤーとして活躍した。

引退後は、國學院高等学校の教師を経て、1985年から学習院大学助手、1987年に同大学講師に就任した。同大学バレー部の指導をする傍ら、全日本ジュニアチームのコーチを務めた。

1990年、筑波スポーツ科学研究所主任研究員・非常勤講師に就任。1992年、筑波大学大学院に進学し、その後、筑波スポーツ科学研究所副所長に就任した。

2004年4月、女性下着の訪問販売会社シャルレ(現テン・アローズ)の社会貢献活動に参加していたことがきっかけで同社顧問となり、同年から2007年まで社長を務めた。

2006年、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)理事。2007年4月から日本バレーボール協会理事(2013年6月まで)。2013年4月には、同協会の女子育成強化委員会ディレクターに就任。2014年6月から日本バレーボール協会評議員。2015年5月、日本バスケットボール協会副会長に就任。2016年6月、日本バスケットボール協会会長に就任。2017年5月、国際バスケットボール連盟理事に就任。また、スポーツコメンテーターとして、テレビ出演等で活躍している。

2 日本代表対オーストラリア代表の試合について

(1) 日程

平成30年6月29日(金) 19:40～

(2) 会場

千葉ポートアリーナ

3 FIBAバスケットボール ワールドカップ2019アジア予選について

(1) 1次予選

- ・ 16チームが参加、4チームごとにA～Dの4グループに分けられている
- ・ 試合はホーム&アウェー方式、各グループ上位3チーム、計12チームが2次予選へ

※現在までの戦績は下記のとおりと日本代表は4連敗中であり、グループBの4位となっている。
オーストラリア戦は、ワールドカップ出場の為には絶対に負けることができない試合となる。

(対戦表)

| 順位 | チーム | JPN | TPE | AUS | PHI | POINTS | | | | SCORE | | |
|----|------------|--------|---------|---------|--------|--------|---|---|----|-------|-----|-----|
| | | | | | | PI | W | L | CP | For | Ag | +/- |
| 4 | 日本 | | ●69-70 | ●58-82 | ●71-77 | 4 | 0 | 4 | 4 | 282 | 318 | -36 |
| | | | | | ●84-89 | | | | | | | |
| 3 | チャイニーズタイペイ | ○70-69 | | ●66-104 | ●83-90 | 4 | 1 | 3 | 5 | 287 | 351 | -64 |
| | | | | ●68-88 | | | | | | | | |
| 1 | オーストラリア | ○82-58 | ○104-66 | | ○84-68 | 4 | 4 | 0 | 8 | 358 | 260 | 98 |
| | | | ○88-68 | | | | | | | | | |
| 2 | フィリピン | ○77-41 | ○90-83 | ●68-84 | | 4 | 3 | 1 | 7 | 324 | 322 | 2 |
| | | ○89-84 | | | | | | | | | | |

※ 各グループ内、ホーム&アウェー方式で開催(ホーム:3試合、アウェー3試合)

※PI: 試合数、W: 勝数、L: 負数、CP: 勝点、For: 総得点、Ag: 総失点、+/- (得失点差)

※2018年2月25日現在

(2) 2次予選

- ・ 12チームが参加し、2018年9月から開催される
- ・ 12チームが2グループに分かれ、各グループ上位3チームと各4位チームの成績上位1チームの計7チームが2019年8月～9月に中国で行われる本戦へ進出